

ごあいさつ

初夏の候、皆さまにはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

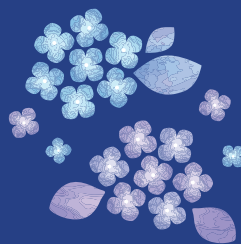
令和6年元日に発生した能登半島地震から、
まもなく一年半が経過しようとしています。

今なお被災地では、多くの方々が復旧・復興に尽力されており、
心より敬意を表します。

金沢市においても、本格的な道路や下水道などインフラの修復・再整備が進められており、
私も昨年度、副委員長を務めた建設企業常任委員会にて、その推進に尽力してまいりました。
これに加え、防災対策、観光振興、経済活性化、公共交通の充実、デジタル化推進、
そして文化・スポーツ振興といった多様な分野にも力を注ぎ、
地域の課題に向き合いながら、現場の声を反映した政策提言を行っております。

市議として三年目を迎え、改めて初心に立ち返り、「現場主義」を徹底しながら、
市民の皆様の声に耳を傾け、一つひとつ丁寧に市政へと届けていく姿勢を大切にしています。

今回の『柿本あきひろ市政報告レポート』第5号では、
3月定例会における議会質問の内容をはじめ、昨年度後半の主な活動についてご報告しております。
ご一読いただき、ご意見・ご要望などがございましたら、ぜひお気軽にお寄せください。
今後とも、皆様のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



金沢市議会議員 柿本 章博

各種 SNS などでも最新の情報を発信しております。



インスタグラム



フェイスブック



エックス
(旧ツイッター)



公式ライン



スレッド



ホームページの活動報告を更新中!
<https://kakimotoakihiro.com/>

柿本あきひろ Profile

1967年 金沢市生まれ、諸江町小、浅野川中、金沢泉丘高、東北大卒業、東北大院修了
1992年 (株)PFU入社(7年間の米国駐在)、2023年 (株)PFU退社、金沢市議会議員選挙で初当選
市民福祉常任副委員長 公共交通特別委員 自由民主党金沢市議員会所属(政務調査会長代理)

柿本あきひろ 市政報告レポート
REPORT

発行者 柿本あきひろ事務所
〒920-0015 金沢市諸江町上丁206-9
TEL(076)201-8884 FAX(076)201-8682
✉ info@kakimotoakihiro.com

事務所公式キャラクター
かっきー君



トピックス

1 金沢開発協議会の国・県への要望活動（11.15、11.26）

事務局長として、馳石川県知事、地元選出国議員、自由民主党 鈴木総務会長/森山幹事長に直接要望を行った。最重要項目は、能登半島地震対策（栗崎地区の液状化）、海側幹線の早期4車線化整備、総合治水対策、金沢港整備など



自由民主党 鈴木総務会長へ要望書提出



自由民主党森山幹事長へ要望書提出

2 諸江地区町会連合会 タウンミーティング（10.14、2.16）

Cブロック、Bブロックのミーティングに参加し、地域の皆様の要望を直接伺う。要望を市の担当局と調整して以下の対応を実施



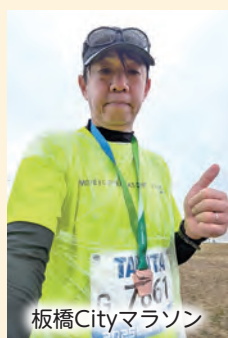
1. 割出町内の雨水幹線に接続する排水路の管理を金沢市へ移管
2. 諸江交差点の渋滞対策（関係者と協議の上、暫定看板を設置して、効果を検証中）
3. 賃貸アパートへの資源ゴミ収集方法変更に関する周知徹底
4. 地域コミュニティ施設再建支援制度の周知徹底 **Q14をCheck**
5. 諸江上丁の榎小公園のフェンス修復、浅野川堤防付近の道路修復、生活道路の水はけ対策
6. 西諸江町内の下水道被害調査

3 金沢マラソンなど全国のフルマラソンにランナー参加

第10回金沢マラソン(10.27)を今年も完走。提携マラソンの板橋Cityマラソン(3.16)、ふくい桜マラソン(3.30)もランナーとして完走し、実走観点からの指摘を議会で質問 **Q7-9をCheck**



金沢マラソン



板橋Cityマラソン



ふくい桜マラソン

4 年末ベートーベン第九公演に出演（12.15）

石川県合唱協会合唱団員として、本市の芸術文化の奥深さを実感。団員との交流を文化芸術政策にも反映していく。



5 防災災害対策会議訓練のオンライン化実現（11.5）

所属の議会活性化推進会議で提案を具現化。さらに一歩進め、私のみ個人所有端末から参加し、課題の洗い出しと執行部への改善要望提出



6 公共交通関係の調査研究視察

全国各地の事例を積極的に調査研究、視察し、学びや気づきを一般質問に反映した。 **Q11-13をCheck**



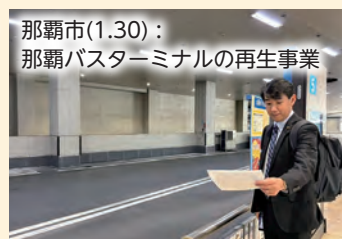
盛岡市(10.10)：
盛岡バスセンターの官民連携事業



金沢市(1.23)：
EVバス実証実験乗車



大阪市(1.28)：自動運転バスの自治体
活用事例セミナーと実車体験



那覇市(1.30)：
那覇バスターミナルの再生事業

岡山市(10.29)：両備グループでの運転手不足等、公共交通維持のための取組

松江市(10.30)：みなし上下分離方式を導入した一畑電車に係る取組

広島市(10.31)：路線バス再構築事業について

秋田市(11.28)：五能線を活用したリゾート列車事業について

議会、委員会活動

● 12月定例月議会 (12.3-17)

能登半島地震関連に係る経費や未来共創計画の推進に係る経費の追加等を主な内容とする総額97.4億円の補正予算案など市長提出議案18件及び議員提出議案7件を可決

● 1月緊急議会 (1.20)

国の総合経済対策に呼応した低所得世帯向けの給付金やプレミアム商品券事業など、28.7億円の補正予算を可決

● 3月定例月議会 (3.3-24)

補正予算の審議、代表質問、一般質問、委員会審査、連同審査会を経て、地域コミュニティの負担軽減(金沢方式の見直し)を含む一般会計総額2,049億円の当初予算を可決

● 建設企業常任委員会 (10.11、11.12、12.16、1.21、2.12、3.14、3.17)

各種提出議案の審査、また、以下の市政課題などを調査

- ・ 除雪管理システムの更新について
- ・ 「木の文化都市・金沢」のロゴマークについて
- ・ 市営住宅のコミュニティ活性化に向けた学生入居について
- ・ 都市計画道路 泉野々市線の工事着手について
- ・ 埼玉県八潮市での道路陥没を受けた下水道管の緊急点検について
- ・ 下水道事業ウォーターPPP 導入可能性調査の結果について

● 公共交通特別委員会 (11.13、12.2)

現地視察(10.29-31)を実施、本市の特性を意識した公

共交通の構築などを盛り込んだ最終提言書をまとめ、市長、議会に報告した。

● 一般会計等決算審査特別委員会 (9.12、10.2、10.21、11.6、11.18)

令和6年度の一般会計決算審査特別委員に選任され、決算書、附属書類等に基づき、詳細説明の聴取や現地視察も合わせて審議を実施

● 議会活性化推進会議 (10.25、11.22、2.14)

一年間の審議結論として、政務活動費における電磁的記録による提出、議会基本条例運用指針の見直し、各種手続き等のオンライン化をまとめた。

● 意見交換会 (11.28、2.27)

今年度のテーマを「防災について」とし、テーブルトーク方式にて開催。2/27開催分では、ファシリテーター役を務め、市民の皆様の多方向からの意見を伺った。



公共交通特別委員会市長報告(12.11)



一般会計等決算審査特別委員会
現地視察(リファレ金沢)(11.6)



市民との意見交換会(2.27)

金沢市主催、関連事業

● 今期も多数の金沢市主催や関連事業に積極的に参加

- ・ 金沢ふるさと偉人館 八田技師 遺品里帰り展(10.2)
- ・ カーフリーデーin金沢(10.2)
- ・ 令和6年金沢市戦没者慰霊式(10.5)
- ・ かなざわ国際交流まつり・KOUGEIフェスタ(10.12)
- ・ 金沢ふるさと偉人館 企画展 福祉は金沢(ここ)から始まった(ギャラリートーク)(10.19)
- ・ 金沢港開港記念周年祭(11.3)
- ・ 栗崎八幡神社絵馬特別公開(11.10)
- ・ モルック震災復興ななオオープン(11.17)
「スポーツの力で被災地を元気に!」を合言葉とした、七尾市で開催のモルック大会。元会社のOB会でチームを作り参加した。
- ・ 高松市 都市間交流 意見交換会(11.20)



- ・ 河北潟周辺議会連絡会 環境施設調査(11.21)
羽咋市の邑知潟と潮止水門を視察、「邑知潟土地改良区の取組」につ



いて説明を受けた。

・ 長町景観地区指定10周年記念式典(11.24)

北陸初となる景観地区指定10周年を祝い、景観を守る取組の講演、「景観地区×西洋教会×雅楽」組み合わせの記念演奏は雅楽に感銘した。



- ・ 金沢市社会教育功労者表彰式(11.25)
- ・ 金沢宇宙塾(12.9)
- ・ 金沢市消防出初式(1.5)
- ・ 拉致問題を考える国民の集いin石川(2.24)
- ・ 都市計画計画道路 泉野々市線 起工式(3.2)
- ・ 未来へつなぐ金沢行動会議 活動報告会(3.2)



日頃なかなか接する事の少ない、若い方の意見をたくさん聞く事ができた。思いの具現化に向け、力になりたいと強く感じた。

地域・町会・町内関連事業

● 伝統文化を伝承し、地域内のつながりを深め、交流を促進する活動

諸江町上丁獅子舞保存会(金沢市指定無形文化財)

- ・ 本年も秋の町内巡回(10.13)を実施。多くの町民の皆様に参加、演技を楽しんでいただいた。また、新たな取り組みとして、金沢市の学生の地域コミュニティ連携促進事業を活用し、金沢星稜大学野外スポーツ部にも参加いただいた。
- ・ 加賀獅子共演会(11.9)や加賀獅子4団体の共演(1.26)で、他団体と交流を図った。
- ・ 令和7年度の獅子舞出演団体決定会議(3.15)で、百万石行列と大阪・関西万博の出演が決定



諸江住吉おどり

- ・ ふる郷伝承民謡交流大会に出演し、伝承の踊りを披露。また、金沢市民謡保存会の役員として、企画準備から携わる。(11.23)
- ・ 8月から、地元の子供向けの和楽器教室を実施し、成果発表会を開催(10.19)
- ・ 浅野川下流の地域のお宝である湯

津地藏菩薩・地藏堂改修移転事業完成式典に出席(10.5)

- ・ 地元のゆかりの住吉工業協同組合の顧問に就任させていただき、優良従業員表彰式に出席(11.8)

● その他、地域の事業への参加

- ・ 社会体育大会(10.6)
- ・ 文化まつり(11.3)
- ・ ご長寿を祝う会(11.7)
- ・ 防災避難訓練(11.23)



- ・ 二十歳のつどい(1.11)
- ・ 新年互例会(諸江地区1.11、川北地区1.18)
- ・ 左義長(1.12)
- ・ 石川県音楽文化協会 合同新年互例会(2.3)
- ・ 自主防災会研修会(2.10)
- ・ ボウリング大会(2.18)
- ・ 安江住吉神社 人形供養(3.2)

- ・ その他、各団体の新年会等へ参加

● 地域の各事業等などを通し、皆様のご要望を受け、市の担当課と調整し対応を実施した。

Q 10、15-16 を Check

(以下は、諸江上丁ゆうあい公園付近のフェンス設置事例)



その他活動

● 勉強会、セミナー、展示会への参加 Q 1-6 を Check

- ・ 石川中央都市圏議会連絡会 行政課題研究会 講演会(10.7)
内灘町における液状化被害とその要因分析
- ・ JAIST産学官共創フォーラム(10.31、3.27)
量子コンピュータ・量子インターネット、画像生成AI技術とCGコンテンツ制作研究など最新技術研究
- ・ Matching HUB Hokuriku 2024(11.12-13)
県内北陸企業の技術、マッチング事例の調査



- ・ 金沢駐屯地のヘリコプター体験(11.16)
多用途ヘリコプターUH-1で、駐屯地～金沢港間を搭乗
- ・ 第35回北前船寄港地フォーラム in 加賀(11.22)
日本海側を中心とした北

前船寄港地の文化継承事例について

- ・ 2040年問題に関する会派内勉強会(11.25)
介護保険制度の現状と2040年に向けた課題の調査
- ・ 生成AIシンポジウム(12.3)
生成AIの最新事例と企業における応用事例
- ・ HOKURIKU イノベーションサミット(12.10)
最新のイノベーションの事例の情報収集

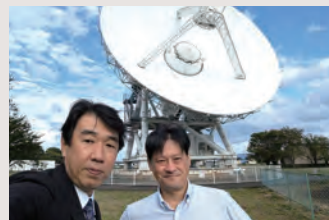
● 行政視察等



仙台市(10.8):東日本大震災時の仙台の被害と復興の現状、仙台博物館の修復工事



盛岡市(10.9):地方議会の主権者教育(全国市議会議長会 研究フォーラム)



水沢市(10.10):国立天文台水沢VLBI観測所と木村榮記念館(本間希樹所長にご説明いただいた)



弘前市(11.28):津軽藩ねぶた村(ねぶた祭りや津軽三味線展示方法)



那覇市(1.30):観光情報センター、沖縄県立図書館、首里城の復興方法



名護市(1.31):辺野古基地建設状況



質問の映像は
こちらをご覧ください。

議長

3/13 3月定例月議会で、一般質問に立たせていただきました。質問の内容は以下の通りです。

金沢市DXアクションプランについて

Q1 未来共創計画の初年度を「デジタル」の観点から振り返った考察、並びに令和7年度予算の編成、そしてデジタル行政戦略課を「デジタル政策課」に組織改編した意図を伺う。

A1 本年度は未来共創計画に基づき、DXアクションプランを策定し、**地域や産業、教育分野でのデジタル事業を展開した。**また、**文化都市金沢らしい施策として「デジタルミュージアム」を推進してきた。**これらの施策をさらに加速させるために、デジタル行政戦略課を**デジタル政策課として都市政策局に移管し、デジタル改革を強化、「すべての人が便利に暮らせるまちづくり」の実現を強力に進めていく。**(村山市長)

Q2 導入予定のデジタル市民パスポートに関して、避難所運営使用時の具体的な運用方法や公共施設利用機能の対象施設、二重価格導入への活用、アプリ普及のためのインセンティブについての見解を伺う。

A2 デジタル市民パスポートは避難所利用を主目的とし、QRコードで入退所を管理する仕組みである。特殊機器は不要で、**防災訓練時に市民へ利用を促し、マニュアル作成など準備を進める。**公共施設利用機能は**予約制イベント等に活用予定**であり、具体的な対象は今後調整する。**二重価格導入は課題が多く研究課題とするが、本パスポート活用も検討する。**普及には**平時登録が重要であり、既存アプリ「カナカ」と統合し自治体ポイント連携などインセンティブ拡充を検討する。**(村山市長、川畑総務局長)

Q3 かなざわ観光快適度マップに関して、現在の利用状況やユーザーの声、AIカメラ設置による混雑状況配信、予測精度改善について市長の見解を伺う。



本マップは、かなざわ観光快適度マップの魅力を伝えています。
※本マップは定期的に更新されます。詳細は、かなざわ観光快適度マップをご覧ください。

エリア	施設	利用状況
金沢市東部エリア	金沢市東部エリア	利用状況
金沢市西部エリア	金沢市西部エリア	利用状況
金沢市南部エリア	金沢市南部エリア	利用状況
金沢市北部エリア	金沢市北部エリア	利用状況
金沢市全域	金沢市全域	利用状況

A3 月間アクセス数が約2,000回で認知度向上が課題である。ユーザーからは**混雑回避に役立つ**との声がある一方、**予測精度への不満**も聞かれる。AIカメラ導入により**人流データを蓄積し、精度向上を図る予定**である。また、プライバシー保護のため**ライブ映像の解像度を低下**させるなど配慮する。(村山市長)

かなざわ観光
快適度マップ



Check!

Q4 来年度、市内小中学校で「デジタル科」が新設され、中学1年生ではメタバース体験授業が予定されている。その目的や内容、通信環境の課題についての見解を伺う。

A4 メタバース授業の目的は、**生徒のデジタル技術への興味を高め、課題解決力や情報活用能力を向上**させることである。授業では外部講師の指導のもと、**メタバース内で金沢の空間を探索し、生徒がアバターとして街づくりを体験**する予定である。通信環境については、**事前検証やテストを行い、改善に向けた調査を実施する。**これにより、**安定したネットワーク環境を整備し、円滑な授業運営を目指す。**(野口教育長、堀場教育次長)

Q5 生成AIを活用した行政向けチャットGPTサービスを導入したが、その成果と庁外展開について見解を伺う。

A5 本市では昨年8月から生成AIを全庁で導入し、約550人の職員が日常業務で活用している。政策アイデア出しやコード生成、議事録作成、自動回答など幅広い業務効率化に寄与している。庁外展開については、**江戸川区の事例を参考にしているが、導入に向けては、本市のシステム環境には課題があり、研究を進める。**(川畑総務局長)

Q6 昨年10月に開始された「書かない窓口」に関して、利用者の評判や市民センターへの拡大、また、本庁舎に設置予定のキオスク端末の目的について見解を伺う。

A6 利用者アンケートで9割以上が満足と回答しており、明年度には**全市民センターに拡大し、来庁者が多い4センターには各2台設置する予定**である。本庁舎のキオスク端末設置は、**職員が操作案内を行い、コンビニ交付サービスの利用促進やマイナンバーカード普及を図るためであり、窓口業務効率化にも寄与すると考えている。**(村山市長、山下市民局長)

第11回 金沢マラソンについて

Q7 今回ロゴが刷新されたが、デザインの意図が十分に伝わっていないのではと感じる。市民やランナーへの説明の在り方について、市長の見解を問う。

A7 第11回大会に向け、新たに金沢の街並みに調和するアースカラーを採用した。漢字と英語の併記や多様なぬいぐるみのメインビジュアルにより、誰もがイメージしやすく、多様性を尊重する大会の理念を表現している。今後も積極的に広報していく。(村山市長)



Q8 公式アプリの導入目的を問う。また、既存大会のような情報通知や多様なユーザー対応機能、観光・経済効果に資する機能についての見解を問う。

A8 公式アプリは、ランナーのみならずボランティアや市民等も活用できる地域一体感の醸成ツールとする考えである。通知機能やマップ機能を備え、交通規制等の情報発信も行う。観光・経済面の機能は、実現性も含め今後検討していく。(村山市長)

Q9 昨年は、エイドでの能登特産品の提供は、石川県庁前一か所のみだったが、輪島や珠洲など複数個所に分散して提供する案について意見を問う。

A9 昨年の大会では、輪島や珠洲の特産品は提供数の確保が難しかった。第11回大会では、それらの品の確保に努め、複数の食べまっしステーション(エイド)での提供を検討したいと考えている。(村山市長)

中小企業・小規模企業振興条例について

Q10 本市が今、中小企業・小規模企業振興条例の制定に取り組む理由、そして「金沢らしい」条例とするべきとの意見について市長の見解を問う。

A10 過去には、既にものづくり基本条例があったことや、他の関連施策が進められていたため、制定の必要性は低いと判断していた。しかし近年は、物価高騰や人手不足、事業承継問題など中小企業を取り巻く環境が一層厳しくなっており、広く中小企業支援を求める声が高まっている。金沢独自の産業構造や商店街の特性を踏まえ、「金沢らしさ」を盛り込んだ条例制定を目指し検討を進める。(村山市長)

公共交通政策について

Q11 連節バスの導入路線として平和町線が選定された理由、安全性への配慮、具体的な整備内容について問う。

A11 平和町線は通勤通学や観光客の利用が多く、右左折が少ないことから導入候補とした。安全性については、交差点での接触を避けるため、過去の実証実験やシミュレーションを踏まえた整備を行う。具体的には、金大附属学校前ロータリーの道路改修、バス停周辺の植栽・縁石の整備、

交差点の停止線移設などを実施する。(村山市長)

Q12 第3期「まちなり」の開始に伴い、サイクルポートを70か所から100か所へ拡大し、さらに20か所の追加予定があるが、その選定基準について問う。

A12 新たなポートの選定にあたっては、中心市街地やその周辺、居住誘導区域、重要な交通結節点を対象に、交通人流データやエリア拡大実験を踏まえて設定する方針である。(村山市長)



諸江地区にも、サイクルポートができました

Q13 交通サービスアプリ「のりまっし金沢」に「まちなり」一日バス機能が追加され、MaaSの利便性が向上する中、今後の調査・検討の方向性について問う。

A13 金沢MaaSは、鉄道・バス・まちなりなど多様な交通手段をスマートフォンで一体的に利用できる環境づくりを目指している。今後は、石川中央都市圏の公共交通環境を改善するため、のりまっし金沢の時刻検索機能に周辺自治体のコミュニティバスやIRいしかわ鉄道などの情報も追加予定である。その実現に向け、来年度は課題整理や機能向上に関する調査を実施する。(村山市長)

被災地域コミュニティ施設等再建支援事業について

Q14 能登半島地震により被災した地域コミュニティ施設の再建支援制度の運用状況や今後の改善・周知について問う。

A14 施設再建には時間がかかるため、今後も継続的な周知が必要であると認識している。現在、112件の相談があり、うち20件が申請予定である。申請書類の簡素化は県の指導もあり困難だが、引き続き申請者に寄り添った対応に努めたい。また、市ホームページの分かりやすい見直しや、「結ネット」等を活用し、さらなる周知を図る考えである。(村山市長、山下市民局長)

諸江地区の金沢市編入100年について

Q15 諸江地区の金沢市編入100周年を迎えるにあたり、市長の思いと今後の地域の方針について問う。

A15 諸江地区は編入以来、人口の増加とともに北西部の要として発展してきた。地域住民の努力に敬意を表しつつ、防災減災や子育て、福祉、健康などの課題に取り組む必要があると認識している。今後は、これまでの地域の思いを未来につなぐ活動を支援し、町会連合会や市民団体とともに、若者を含めた多世代参加のまちづくりのモデルになっていただければと考えている。(村山市長)

Q16 北陸鉄道浅野川線の開業100周年に合わせた利用促進施策の必要性について、見解を問う。

A16 100周年を記念し、感謝と利用促進を目的としたイベントを予定している。市としても、情報発信を通じて乗車促進に協力する。また、利用促進の一環として、駐輪場未整備の駅に順次整備を行い、来年度は北間駅への設置を予定している。(村山市長)